

# 研修医の声

## 研修医としての日々

新潟市民病院

井川友貴

新潟市民病院で初期研修医2年目として勤務している井川友貴です。今回は当院での研修医の生活についてご紹介させていただこうと思います。

当院の研修医は1年目14人、2年目14人の28人で、県内では研修医が多い病院です。初期研修では必修科目に外科、小児科、産婦人科、精神科、内科、救急科、地域医療が含まれており、これらの診療科を順番に回ることで、各科の診療の内容、詳細な知識を学んでいます。また、研修医は当直にも入り救急搬送される患者さんの初期対応にあたります。

また、研修医2年目になると県内の病院で2ヶ月間地域医療を学ぶ地域研修があります。現在私は県立坂町病院で地域研修中ですが、市民病院で経験する症例とは異なり、感冒、胃腸炎、肺炎、尿路感染といった一般的な内科診療や、熱中症、

ハチ刺されなど幅広い主訴の患者対応がメインです。救急外来で対応し入院となった患者さんは主治医として治療にあたるため、疾患の勉強だけではなく、退院調整など患者さんやご家族との対応も重要で、退院後の患者さんの生活まで考えて診療する大切さを学び、とても貴重な経験をさせていただいています。まだまだ知識不足で周囲の方々にご迷惑をおかけすることも多々ありますが、上級医の先生方にご指導していただきながら日々診療に取り組んでいます。

余談ですが、写真は先日大学の同期と苗場山に登山に行った時の写真です。山頂はガスがかかっていましたが、それでも花や池塘がとても綺麗でした。3年目県外に出る同期もいましたが、また新潟に集まって登れたらと思います。



7月の苗場山